

2016年度に重点的に取り組んだこと

1 暮らしをつないで、より豊かな暮らしをみんなで作ります

コープ委員会やコープふれあいの集い、商品くらし交流会など組合員さんが集まって、食べ方や使い方など商品を中心にしたおしゃべりが広がりました。

商品くらし交流会での食べ方交流



コープ委員(商品)さんが、お気に入り商品を出し合い、お取引先による商品学習会やお気に入り商品を使ったメニューを作って商品の使い方や食べ方を通した暮らしの交流を深めました。

あんかけオムレツ



「野菜の美味しいスープ」を使ったあんかけオムレツは、ものすごく簡単に手を使ったようなので、とっても美味しかったです。あんかけチャーハンなど色々応用できそうです。

わが家からのメッセージ

組合員さんからたくさんメッセージをお寄せいただきました。



高松市 浜田さん
毎日の生活に友達と一緒に利用させてもらっており、食事の作り方や美味しく頂くものも考えて、生活を楽しくして、コープががわのすばらしい食品にうれしく思っております。私は84才に8月が来たらなります。元気でいられるのも食事です。友達と一緒に食事して楽しい人生を一步一步前進しております。

香西地区 アンフィニ班の皆さん
30年以上ご利用の「感謝状贈呈」や、長く続けて頂いている理由、お気に入り商品など、ビデオメッセージとしてお寄せ頂き、楽しい受け場の様子が会場で紹介されました。

高松市 Nさん
乳幼児2人抱えているので、玄関まで配達してくれるのが助かっています。2歳の子もコープの商品はお気に入り、食事におやつにとでも役立っています。担当者とも仲良くなって、毎週配達の日を楽しみにしています。

商品の学習や声の交流を通じて、生産者、お取引先、組合員さん、職員が互いに理解し合える場をつくり、交流が深まりました。

もずく基金生産者交流会

11月にCOOPのもずくを生産して下さっている恩納村漁業協同組合の生産者さんと、製造メーカーの柳井ゲタ竹内の担当者さんをお招きし、組合員さんとの交流を通じて「もずく基金」への理解と共感を広げました。



もずく生産者さんの学習会



もずく料理を試しながら交流



このマークが目印です。
対象商品は全部で12品
2016年度もずく基金の贈呈
135,182円
(中四国の6つの生協全体で 1,998,311円)

【もずく基金】中国地区5生協とコープかかわの組合員が対象商品を利用することによって基金を積み立て、サンゴを養殖し、恩納村の海のサンゴ保全に役立っています。店舗は1点(2パック)につき1円、共同購入は1点(4パック)につき2円、お弁当用もずくは1点につき1円を寄付します。



柳井ゲタ竹内 常務取締役 竹内 周さん

組合員の皆様、一人ひとりの利用の力で2万本(3ヘクター)の母サンゴが育ちました。そして、私たちの活動が認められ、昨年9月、国から「環境大臣賞」を頂くことになりました。今、恩納村では村民挙げてサンゴの村構想が進んでいいます。生協の組合員の皆様の思いに動かされ、地域も変わり始めています。



おたがいさま高松 応援者 光宗 純子さん

「おたがいさま」の応援者として昨年10月から活動しています。きっかけは「生協まつり」で、犬のお散歩ができる方募集という貼り紙を見たことでした。不安よりも応援を待っていてくれる人がいるという使命感のほうが大きく、気持ちよく始めることができました。
「おたがいさま」は、家事育児など自分の経験が活かせる応援です。出産直後の食事作りの応援では、苦手な料理をアプリを見ながら作りました。利用者さんから再リクエストがあった時は、とても嬉しかったです。ふとしたきっかけで自信をつけてもらい、利用者さんからも「ありがとう」と言われる素敵な活動を、これからも続けていきたいと思っています。

「おたがいさま」
困っている利用者さんと誰かの役に立ちたい応援者さんをつなぐ有償ボランティアシステム。



掃除応援



育児応援



草刈り応援

「おたがいさま」では、依頼一つひとつに丁寧にお応えして利用者さんからの信頼も高まり、活動が年々広がっています。

2 安心して暮らし続ける地域についてみんなで考える場や取り組みを応援します

各事業本部、部署ですすめたこと

共同購入事業本部

「聴く」ことを仕事の中心に据えて取り組みました。一週間に一度の荷受け場が、組合員さんにとって「より楽しく」「より暮らしに役立つ」「豊かな「場」になるよう努力しています。

店舗事業本部

生鮮部門(農産・水産・惣菜)では適量企画の取組みを進めています。精肉部門では、大容量(大・特大)の品揃えを増やし、少量から大容量までの品揃えが前進しました。

中部共同購入センター 小川 千春さん 「組合員さんのくらしや思いに寄り添いながら」



組合員さんにとって私が配達に来ることで緊張したり、出てくるのが億劫になったり、「きちっとした奥さんでなくてはならない」などとプレッシャーに感じてほしくありません。リラックスしてほしいという思いがあります。そのために、話し方(声のトーン・さめぎみ)、地域の話、家族の話、流行っているもの、カタログを一組合員としてみるなどを意識しています。

ある日の組合員さんとの会話



組合員さん
私まえにどっかで、足のところが二重になっとなって、そこに足つこんで寝るやつを買って、それがよかつたや〜。そんなまた欲しいけどないん?



小川担当
なんか見た気がします。一緒に見てみましょうか。あつた!ここに載ってますよ!こんなんですよ?



組合員さん
そうやそうや、うわあ、聞いてみるもんやな。



小川担当
聞いてくれてありがとうございます。あつてよかつた〜。

こちらの組合員さんは、月日を重ねるにつれ、リクエストをよく頂くようになり、ご家族のことを話して下さるようになりました。



中部共同購入センター 小川 千春さん

香西地区を担当して3年が過ぎました。私は組合員さんたちが大好きです。新人の頃はご迷惑をおかけすることがたくさんありましたが、頼りない私を見て自立できるように努力するの、忍耐力、く見守ってくださって、思っていたように思います。

<コープ屋島「少量規格の品揃え」>

組合員さんが利用しやすいように、スイカのブロックカット100円の品揃えを行いました。一口かな、これなら二口かなと組合員さんのことを思いながら食べやすい大きさを心がけています。



▲左から、コープ屋島 松村 玲子さん、石田 アヤ子さん、植田 真弓さん、橋本 ヒサエさん、齋藤 輝美さん



▲スイカの売場



組合員さんの声

100円のスイカの量がちょうど良いし、冷蔵庫に入れていたら子どもが気に入って食べるんや。価格も大きさもいいし、ゴミが出ないから本当に便利です。

2016年度 募金報告

<p><東日本応援募金> 募金額: 1,767,999円 (2016年4月1日~2017年3月31日)</p>	<p><北海道・岩手連続台風緊急募金> 募金額: 895,896円 (2016年9月25日~10月23日)</p>
<p><熊本地震緊急募金> 募金額: 12,204,202円 (2016年6月~2017年2月)</p>	<p><鳥取地震緊急募金> 募金額: 737,543円 (2016年11月1日~11月27日)</p>

50周年記念企画

50周年を迎え、これまで支えていただいた方々に感謝を伝えるため、記念企画を行いました。

30年以上ご利用の組合員さんに「感謝状」贈呈



丸亀市 前塚屋班の皆さん

生協まつり



▲約2万人の方々にご来場いただきました。

ラッピングトラック



▲県内全てを回りました。

記念商品



▲コーすけパン、ワイン、バウムクーヘン、コーすけどら焼き